

平成 24 年度

琉球大学大学院法務研究科  
(法科大学院)

# 学生募集要項

(A 日程・B 日程)

琉 球 大 学

## ◆入学者選抜の基本方針◆

高い人格と倫理観を持ち、人間味に溢れ、それゆえに地域の人々から深い信頼を得ることができる（すなわち「地域にこだわる」）とともに、日本の法制度と法律を深く理解して、地域の問題を国や世界に発信し、諸外国の法曹とも渡り合える力を持った法曹（すなわち「世界を見つめる」法曹）の養成という当法科大学院の理念に共鳴し、そのような法曹になりたいという熱意と、その素養を持った者を募集します。特に英語力が優れた者には特別枠を設けます。また、多様な人材を確保する観点から、資格や経歴を積極的に評価するなど、社会人・他学部出身者を幅広く受け入れるように配慮します。

## ◆平成 24 年度入学者選抜日程◆

	事 項	期 日
A 日 程	出願期間	平成 23 年 7 月 26 日(火) ～ 8 月 1 日(月)【必着】
	選抜試験	平成 23 年 9 月 3 日(土)、9 月 4 日(日)
	合格者発表	平成 23 年 9 月 22 日(木) 11:00
	入学手続	平成 23 年 10 月 11 日(火) ～ 10 月 13 日(木)
	追加合格者への連絡	平成 23 年 10 月 14 日(金)以降 ※定員に欠員が生じた場合

	事 項	期 日
B 日 程	出願期間	平成 23 年 10 月 18 日(火) ～ 10 月 24 日(月)【必着】
	選抜試験	平成 23 年 11 月 12 日(土)、11 月 13 日(日)
	合格者発表	平成 23 年 12 月 9 日(金) 11:00
	入学手続	平成 24 年 1 月 10 日(火) ～ 1 月 12 日(木)
	追加合格者への連絡	平成 24 年 1 月 13 日(金)以降 ※定員に欠員が生じた場合

※支援態勢を充実させました。詳細は、本冊子末尾またはホームページをご覧ください。

### 琉球大学 法科大学院係

(文系総合研究棟 1 階 事務室)

〒 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187

E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp

ホームページ : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

## 1. 募集人員

A 日程 (12 名)	2 年コース (法学既修者対象) <b>4 名</b> (一般選抜 3 名程度・特別選抜 1 名程度)
	3 年コース (法学未修者対象) <b>8 名</b> (一般選抜 5 名程度・特別選抜 3 名程度)
B 日程 (10 名)	2 年コース (法学既修者対象) <b>3 名</b> (一般選抜 2 名程度・特別選抜 1 名程度)
	3 年コース (法学未修者対象) <b>7 名</b> (一般選抜 5 名程度・特別選抜 2 名程度)
	<b>合計 22 名</b>

### 2 年コースについて

※2 年コースの合格者は、1 年次配当科目 39 単位のうち 36 単位を履修したものとみなし、2 年次に配置します (なお、カリキュラム変更があった場合、認定単位数は増減する可能性があります)。

※2 年コースは、法学部出身者でなくても受験できます。

### 併願について

※各日程とも、2 年コースと 3 年コースの併願ができます。また、一般選抜と特別選抜の併願も可能です。なお、3 年コースの合否判定では、法律試験の結果は考慮しません。

※2 年コースと 3 年コースを併願した者の合否判定は、2 年コースから行います。

※A 日程で受験した者が、さらに B 日程で受験することも可能です。

### 募集人員の変更について

※A 日程の合格者がその募集人員に満たないときには、その欠員数を B 日程の各コースの募集人員に加えて、選抜を行います。特別選抜の募集人員についても同様とします。B 日程の募集人員について変更がある場合には、改めてホームページ上で告知します。

(<http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>)

※B 日程の 2 年コースの合格者がその募集人員に満たないときには、その欠員数を 3 年コースの募集人員に加えて、選抜を行います。

※なお、A 日程及び B 日程の合格者の合計人員が募集人員に満たなかったときには追加募集を行うことがあります。追加募集を行うことになった場合には、ホームページ上で告知します。

### その他

※3 年コースの選抜にあたっては、多様な人材を確保するため、合格者に占める社会人・非法学部出身者の割合ができるだけ 3 割を下回ることのないように留意します。

※特別選抜合格者には、当法科大学院のインターナショナル・ロイヤー・コース (基礎法学・隣接科目について所定の授業科目 2 単位以上、展開・先端科目について所定の授業科目 8 単位以上を修得することを内容とするコースです。なお、修得しなければならない単位数の合計は通常のコースと同じです。) を履修していただきます。

## 2. 出願資格

本研究科に入学を志願できる者は、財団法人日弁連法務研究財団が実施した「2011 年度法科大学院統一適性試験」を受験した者で、次の各号のいずれかに該当する者です。ただし、適性試験において、その得点 (スコア) までの累計人数が受験者数の 85 パーセントに当たる人数に達する点数よりも低い得点しかできなかった者は、出願することができません (出願に必要な最低点は、平成 23 年 7 月 20 日 (水) までに、ホームページ上で告知します。)

また、特別選抜への出願については、上記の出願資格に加え「(注1) 特別選抜の出願について」を満たすことが必要です。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 24 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成 24 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 24 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 24 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 24 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学省大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 24 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規程により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 平成 24 年 3 月末日において、大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者及び平成 24 年 3 月までに 22 歳に達する者

※ 上記出願資格(8)、(9)、(10)により出願しようとする者は、A日程の場合は平成 23 年 6 月 30 日（木）、B日程の場合は平成 23 年 9 月 8 日（木）までに琉球大学 法科大学院係（3. の(4)「出願・試験に関するお問合せ先」参照）へ直接お問い合わせください。資格審査に関する書類をお送りします。

(注 1) 特別選抜の出願について

英語の得点が右のいずれかを満たしていること	TOEFL-PBT	575 点以上
	TOEFL-iBT	88 点以上
	TOEIC	800 点以上

### 3. 出願手続および出願書類等

出願書類を提出する際には、不備がないよう確認し、本研究科所定の封筒に入れて、**書留郵便**で送付してください。なお、直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。ただし、土曜日及び日曜日は、受付をしません。

#### (1) 出願期間

A日程	平成23年7月26日(火)～8月1日(月)(必着) (窓口での受付は、8月1日(月)17:15まで)
B日程	平成23年10月18日(火)～10月24日(月)(必着) (窓口での受付は、10月24日(月)17:15まで)

※ 期限後に到着した場合は受理しません。

※ 沖縄県外に居住する者が出願書類を郵送する場合は、沖縄県の地理的及び気象上の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕を持って送付してください。

#### (2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要	一般選抜	特別選抜
①入学志願票	本研究科所定の用紙に記入すること。 受験を希望する試験場欄に忘れずに○を付してください。	○	○
②適性試験の成績	「法科大学院全国統一適性試験成績証明カード」を <b>添付</b> すること。なお、「第4部表現力を測る問題 解答用紙(写)」は提出不要です。	○	○
③課題に対する小論文 ( <u>A日程の3年コースの出願者のみ提出</u> )	事前に与えられる課題に対して自らの考えを述べる形式の小論文。法律の知識を問うものではない。A4横書き2枚(2600字程度)、ワープロ又はパソコンで作成したもの。「課題に対する小論文○○○○」(○○部分に内容にふさわしい文言を考えて入れること)とタイトルをつけ、氏名はタイトルの次段右側に記入すること。 ホチキス止めにはせず、ページ下中央にページ番号を付すこと。 なお、課題は平成23年7月1日(金)に、本法科大学院のホームページ上で出題されます。	○	○
④検定料納付証明書	入学検定料振込後、金融機関の窓口で交付される「検定料納付証明書(大学用)」を切り離し、出願書類に <b>同封</b> すること。 詳しくは「 <b>4. 検定料について</b> 」を参照。	○	○

⑤受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した正面上半身無帽のもの(縦4cm×横3cm)を貼付すること。	○	○
⑥志願者整理票 ・宛名票	本研究科所定の用紙に記入すること。	○	○
⑦封筒 (受験票等送付用)	本研究科所定の封筒に住所、氏名及び郵便番号を明記し、速達郵便料金の切手350円分を貼付すること。	○	○
⑧外国人登録済証明書	外国籍を有する者は市区町村長発行のもので、出願前1ヶ月以内に交付されたものを提出すること。	該当者	該当者
⑨学業成績証明書	出身大学の学長(学部長)が作成したもの。大学院在籍中、または修了の場合は、大学院のものも合わせて提出すること。	○	○
⑩卒業(見込)証明書	出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの。大学院修了または修了見込の場合は、大学院のものも合わせて提出すること。	○	○
⑪志願理由書	A4横書1~2枚(1600字以内)、ワープロ又はパソコンで作成したもの。(なぜ法曹になりたいか、どのような法曹になりたいか、本法科大学院を選んだ理由は何か等を中心に) 「志願理由書」とタイトルをつけ、氏名はタイトルの次段右側に記入すること。 複数枚にわたる場合は、 <u>ホチキス止めにはせず</u> 、ページ下中央にページ番号を付すこと。	○	○
⑫推薦書	A4横書1枚(800字以内)、ワープロ又はパソコンで作成したもの。但し推薦者の署名は必要。厳封の必要はない。(人物を判断する資料にするためであり、上司、指導教授、家族、友人等誰に書いてもらうかは各自の判断に任せる。) 「推薦書」とタイトルをつけ、タイトルの次段右側に、推薦者の氏名・住所・受験者氏名・受験者との関係を記入すること。	(注1) 任意	(注1) 任意

⑬TOEFL又はTOEIC のスコア	TOEFL (PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可) またはTOEIC (TOEIC-IPは不可) のどちらか一方のスコアに限る。 <u>2009年10月以降に受験したものを有効とする。</u> TOEFLは“Examinee’s Score Record”のコピーを、TOEICは「公式認定証」(コピー不可)を提出すること。	(注2) ×	○
-----------------------	---	-----------	---

※ 外国語で作成された出願書類には日本語の訳文をつけること。

(注1) 但し、提出した場合は評価の対象となり得る。

(注2) 但し、入学志願票の資格・特技を証明するものとして提出することはかまわない。

(3) 出願に関する注意

① 出願書類の受付後、提出書類の差し替え、返却及び記載事項の変更は認めません。

② 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合は受け付けません。

③ 出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

④ 志願者全員に「受験票」及び選抜試験の日程等を示した「選抜試験受験要領」をA日程は平成23年8月12日(金)に、B日程は平成23年10月31日(月)に送付します。上記送付日より1週間経過しても到着しない場合は、法科大学院係へお問い合わせ下さい。

(4) 出願書類の提出先および出願・試験に関する問合せ先

**琉球大学 法科大学院係** (文系総合研究棟1階 事務室)

〒 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187

E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp

Web サイト : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

#### 4. 検定料について

検定料 30,000 円（別添「検定料振込書」を使用してください）

##### 検定料振込期間

A 日程	平成 23 年 7 月 19 日（火）～ 8 月 1 日（月）
B 日程	平成 23 年 10 月 11 日（火）～ 10 月 24 日（月）

##### ① 振込方法

- i) 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。  
《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、振込先》
- ii) 金融機関（銀行等）の窓口で振込み込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- iii) 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- iv) 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- v) 「検定料納付証明書（大学用）」は**出願書類に同封して提出**してください。

**※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。**

振込依頼人氏名は、先に募集区分（法務研究科は 811）、次に志願者本人氏名としてください。

例) 811 タイガク タロウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

**受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。**

##### ② 留意事項

- i) 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、入学願書を受理しません。
- ii) 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
  - ◎ 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）
  - ◎ 誤って検定料を二重に振込んだ場合

※上記に該当する場合は、(1)現住所・電話番号、(2)志願者本人氏名（フリガナ明記）、(3)納付年月日、(4)納付金額、(5)返還請求の理由、(6)振込口座（①金融機関名、②支店名、③預金種別、④店番、⑤口座番号、⑥口座名義（フリガナ明記））を記入した「返還金払戻請求書」（任意様式）を作成し、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受領後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：平成 24 年 3 月 31 日

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL：098-895-8058



## 5. 選抜方法

### (1) 2年コース（法学既修者対象）・・・AB日程共通

一般選抜：法律試験と面接試験を実施し、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、法律試験の5科目のうち1科目でも著しく低い点数の科目があったとき、あるいは、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

特別選抜：法律試験と面接試験を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、法律試験の5科目のうち1科目でも著しく低い点数の科目があったとき、あるいは、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

※3年コースと併願した者の面接の内容は、3年コースと同様のものとなります。

### (2) 3年コース（法学未修者対象）

#### ア A日程

一般選抜：事前に提出された「課題に対する小論文」を踏まえ、主としてその内容に関する面接を実施し、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

特別選抜：事前に提出された「課題に対する小論文」を踏まえ、主としてその内容に関する面接を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

#### イ B日程

一般選抜：小論文及び面接を実施し、適性試験の成績及び提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、小論文または面接試験の点数のうち一方でもそれぞれの科目の平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

特別選抜：小論文及び面接を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、小論文または面接試験の点数のうち一方でもそれぞれの科目の平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

## 6. 試験科目等

### (1) 2年コース（法学既修者対象）・・・AB日程共通

科 目	内 容	配 点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の法科大学院適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	10点	10点
提出書類	入学志願票、志願理由書、成績証明書、推薦書（任意）	5点	5点
面 接	提出された書類を資料として個人面接を行い、法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	25点	20点
法律試験	下表に掲げた試験科目につき、論述式の試験を行い、同表記載の配点で採点した上で、これを右欄記載の点数に換算した点数をもって、その成績とする。	60点	40点
TOEFL又は TOEICのスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については、出願資格の欄を参照すること。	/	25点

#### 法律試験の試験科目と配点

科 目	配 点	出 題 範 囲
公法系（憲法・行政法）	100点	行政法の出題範囲は、行政救済法を除く。
刑事系（刑法・刑訴法）	100点	刑訴法の出題範囲は、上訴・再審の部分を除く。
民事系Ⅰ（民法）	150点	
民事系Ⅱ（商法）	50点	会社法に限る。
民事系Ⅲ（民訴法）	30点	上訴・再審の部分を除く。
合 計	430点	

(2) 3年コース

(1) A日程

科 目	内 容	配 点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の法科大学院適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	30点	10点
提出書類	入学志願票、志願理由書、成績証明書、推薦書（任意）	10点	10点
	課題に対する小論文	面接の得点の中で評価する	左に同じ
面 接	提出された書類（とくに課題に対する小論文）を資料として個人面接を行い、法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	60点	50点
TOEFL又は TOEICのスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については、出願資格欄を参照すること。		30点

(2) B日程

科 目	内 容	配 点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の法科大学院適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	30点	10点
提出書類	入学志願票、志願理由書、成績証明書、推薦書（任意）	10点	10点

小論文	法科大学院への適性があるかどうかを見ることを目的とした小論文。分析力、思考力、表現力等を試すもので、法律の知識を問うものではない。	30点	25点
面接	提出された書類を資料として個人面接を行い、法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	30点	25点
TOEFL又は TOEICのスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC (TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については、出願資格欄を参照すること。		30点

## 7. 試験日時

※ 集合時間、注意事項等は「選抜試験受験要領」に記載します。

### (1) A日程

	2年コース志願者（併願者を含む）		3年コース志願者	
	時 間	試 験 科 目	時 間	試 験 科 目
9月3日(土)	10:00～ 12:00	法律試験（公法系）	10:00～	面 接
	13:00～ 15:00	法律試験（刑事系）		
	15:30～ 16:20	法律試験（民事系Ⅱ）		
9月4日(日)	9:30～ 12:00	法律試験（民事系Ⅰ）	10:00～	面 接（予備日）
	13:00～ 13:50	法律試験（民事系Ⅲ）		
	14:15～	面 接		

### (2) B日程

	2年コース志願者		併願者	3年コース志願者	
	時 間	試 験 科 目		時 間	試 験 科 目
11月12日(土)	10:00～ 11:30		小論文	10:00～ 11:30	小論文
	13:00～ 15:00	法律試験（公法系）		13:00～	面 接
	15:30～ 17:30	法律試験（刑事系）			
11月13日(日)	9:30～ 12:00	法律試験（民事系Ⅰ）		10:00～	面 接（予備日）
	13:00～ 13:50	法律試験（民事系Ⅱ）			
	14:00～ 14:50	法律試験（民事系Ⅲ）			
	15:15～	面 接			

## 8. 試験場

試験場は、琉球大学試験場、東京試験場及び京都試験場があります。出願の際には、必ずどちらかの試験場を選択してください。なお、出願後の試験場の変更は認めません。

### (1) 琉球大学試験場（A日程・B日程）

試験場の建物入口において注意事項及び試験室配置図(面接の集合場所を含む)を掲示します。

<p>試験場</p>	<p>琉球大学 法文学部（千原キャンパス）          沖縄県中頭郡西原町字千原1番地</p>
<p>交通機関</p>	<p>○那覇バスターミナル(泉崎)発          ・琉大(首里経由)線(97番)に乗り「琉大東口」下車          ・琉大線(98番)に乗り「琉大北口」下車</p> <p>○沖縄都市モノレール(ゆいレール)の首里駅(終点)で下車し、タクシーを利用して琉球大学へ。交通事情により異なりますが、所要時間は約30分、運賃は約1,500円です。</p> <p>※法文学部最寄りの大学通用門は、「琉大東口」です。</p>
<p>試験場案内図</p>	

(2) 東京試験場 (A日程)

試験場	明治学院大学 白金キャンパス 東京都港区白金台1-2-37
交通機関	JR品川駅より 都営93系統バス「目黒駅」行き「明治学院前」下車 JR目黒駅より 都営93系統バス「大井競馬場」行き「明治学院前」下車 東京メトロ南北線 「白金高輪駅」または「白金台駅」下車 徒歩7分 都営三田線 「白金高輪駅」または「白金台駅」下車 徒歩7分 都営浅草線 「高輪台駅」下車 徒歩7分
試験場案内図	 <p>The map shows the examination site area in Tokyo. The central location is Meiji Gakuin University (MG), marked with a yellow square and the letters 'MG'. To the north is the 'Meiji Gakuin University' bus stop (「明治学院前」停留所). To the west is the Hachikane Station (八芳園) and the Hachikane Station (白金台駅). To the south is the Takahashi Station (高輪台駅). To the east is the Shimbashi Station (品川駅). The map also shows the location of the Meiji Gakuin University (法科大学院) building, the Takahashi Police Station (高輪警察署), and the Meiji Gakuin Hotel (都ホテル). The map includes a legend for bus routes (都営バス路線) and pedestrian routes (徒歩経路). A north arrow is located in the top right corner.</p>

(3) 東京試験場 (B日程：試験場未定 確定次第、ホームページ上で通知します。)

(4) 京都試験場（A日程）

<p>試験場</p>	<p>同志社女子大学 今出川キャンパス 京都府京都市上京区今出川通寺町西入</p>
<p>交通機関</p>	<p>京都駅 地下鉄烏丸線(国際会館行 約10分) 今出川駅 3番出口 徒歩5分 阪急烏丸駅 乗り換え 四条駅より地下鉄烏丸線(国際会館行 約6分) 今出川駅 3番出口 徒歩5分</p>
<p>試験場案内図</p>	

(5) 京都試験場（B日程：試験場未定 確定次第、ホームページ上で通知します。）

9. 合格者発表

A日程 平成23年9月22日(木) 午前11時

B日程 平成23年12月9日(金) 午前11時

本学文系総合研究棟玄関前に掲示するとともに、本人あてに合格通知書と「入学者心得」および入学手続書類を郵送します。

琉球大学法科大学院ホームページでも提供します。不合格者への通知は行いません。

10. 入学手続

A日程 平成23年10月11日(火)～10月13日(木)

B日程 平成24年1月10日(火)～1月12日(木)

詳細については、合格者あてに別途通知します。



## 11. 身体に障害を有する志願者の事前相談

身体に障害がある場合は、受験上および修学上特別な配慮を要する場合がありますので、事前に法科大学院係（098-895-8091）に相談してください。

## 12. 追加合格について

入学手続終了日において募集人員に欠員が生じた場合は、A日程は10月14日(金)以降、B日程は1月13日(金)以降に、志願票に記載された「連絡先」へ電話により追加合格の照会をすることがあります。入学の意思について、本人(代理は認められません)に確認しますので、本人の所在を明らかにし、連絡がとれるようにしてください。

## 13. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

入学料 282,000 円 (予定)

授業料 前期分 402,000 円 (年額 804,000 円) (予定)

(注) ① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

② 授業料の納入については、申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③ 入学料の免除または授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除の可否が決定されるまでの間、納付金の納付が猶予されます。

## 14. その他経費

入学時には、入学料及び授業料とは別に、学研災付帯賠償責任保険・法科大学院教育研究賠償責任保険(略称：法科賠・Lコース)への加入および3ヶ年分の保険料が必要です。

保険料(3ヶ年分) 9,500 円

この保険には、法科大学院の全学生が加入することとなっています。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

## 15. 入試情報開示に関する事項

### (1) 入試問題

平成24年4月以降、琉球大学法科大学院ホームページで公開します。

### (2) 入試に関する統計（志願者数、合格者数、その他統計）

入試に関する統計は、その都度公表していく予定です。入学者が決定しましたら、最終的な統計を公表します。

### (3) 試験成績

本研究科では、平成24年度入学者選抜に係る個人成績を本人に限って開示します。

試験成績開示の手続についての詳細は琉球大学法科大学院ホームページをご覧ください。

## 充実した支援態勢

### 経済的支援態勢

#### ★ 授業料免除制度

##### ○ 成績優秀者授業料免除制度

成績優秀者は、年間の授業料が全額免除されます。新入生については入学者選抜試験の成績が、在學生については法科大学院における前年度の成績が、それぞれ考慮されます。平成23年度までは、各学年1名の成績優秀者を対象としていましたが、平成24年度の入学者については、最大5名の入学初年度の年間授業料が全額免除になります。

※ 5名の内訳は、以下のとおりです。授業料免除の対象者には、合格発表後、速やかに連絡します。

A日程：2年コース合格者のうち2名、3年コース合格者のうち1名

B日程：2年コース合格者のうち1名、3年コース合格者のうち1名

※ 詳細は未定ですが、次年度以降は、各学年数名の成績優秀者の授業料が免除される予定です。

##### ○ 経済的困窮者の入学料および授業料免除制度

経済的に困窮している世帯の学生について、入学料と授業料の双方または一方を、全額または半額免除する制度です。

#### ★ 奨学金制度

##### ○ 鎌倉フェローシップ・沖縄ロースクール奨学金

一般財団法人鎌倉フェローシップのご好意による新入生を対象とした給付型の奨学金です。対象者には年額36万円が3年間給付され、返還義務はありません。入学後、申請書類を提出した新入生の中から1名から2名の対象者が、プレゼンテーション等の審査を経て決定されます。

※ 上記の奨学金のほか、日本学生支援機構の奨学金も利用できます。

### 学修支援態勢

#### ★ 指導教員制度

学年ごとに、2名～3名の指導教員をおいています。指導教員は、履修方法・成績・進路・経済的支援制度の利用等について、学生から随時相談を受け付け、親身に指導・アドバイスします。

#### ★ 沖縄弁護士会との連携

沖縄弁護士会との連携により、新司法試験に合格した若手弁護士が、TA（ティーチング・アシスタント）として、授業をサポートしています。また、答案練習会やオーダーメイド・ゼミのチューターも引き受けてくれています。